

千葉県議会議員
矢崎けんたろう議会報告 Vol.30

東京湾水上交通調査事業化

【平成27年度予算
委員会質疑報告】

研究会発足・水上バス運航実態調査・千葉への延伸航路検討

矢崎提言



2期目の任期の最終議会である2月議会が終了。今回は3月4日には、平成27年度予算委員会で質疑に立ち、これまで議会で指摘・提言してきた事柄が、来年度予算にどのように反映されているか確認することができました。

昨年、10月～12月にかけて開かれた決算審査特別委員会に引き続いたかたちの質疑となりましたが、東京湾水上交通の整備に関して、小額ながら、調査費が計上されたことは、重要な一步だと捉えています。

また、総合企画水道常任委員会では、震災時に多大な漏水被害が生じたことから、対策を取るよう強く要望してきた上水道の監視システムの整備・導入が確認できました。

以下、抜粋でご報告します。

約5年前、羽田空港船着場が整備され、国内外の旅客が利用する海上の定期便が運航しているのをご存知でしょうか？ 残念ながら、現在のところ船の行き先は、横浜とお台場の2ルートのみしかありません。海を活用した水上交通の整備は、千葉に直接観光客を運ぶばかりではなく、県民の利便性を高める水上の足としても、また、震災等の災害時に、救援の物や人を運ぶルートとしても、非常に有効だと考えており、整備を検討すべきと、提言してまいりました。

昨年の決算委員会で検討状況について確認したところ、「東京オリンピックの会場への移動や観光誘客のルートとしても有効と考える」と、やや前向きな見解を聞くことができました。

そして来年度、この水上交通整備に向けた調査・研究がはじまります。これは、「東京湾ツーリズム調査」

◆◆水上交通整備について

観光・県民・救援のルートとして整備推進を

「推進事業」として、事業化されたもので、初年度となる平成27年は、国市町村、旅客運航事業者、旅行業者等で構成する研究会を立ち上げ、水上バスの運航状況の実態を把握。千葉県まで航路を延伸するための方策について、検討を推進。更に、来年度は千葉港の旅客船桟橋が完成する予定もあり、この桟橋の活用を見据えて、千葉市と連携をとるのをはじめ、浦安市、木更津市などの関係市町村の意向を聞いていくとのことです。

水上交通は、三方を海に囲まれている千葉の可能性を最大限に拡げるとともに、観光に関わる事業者、商店、そこで働く人、住む人など、県民の可能性を最大にする施策でもあります。その第一歩目の調査が事業化されたことに、強い手応えを感じます。

引き続き実現に向か、活動してま

県議会報告



民主

2015
Vol.30

[Profile] 町立見明川小、市立見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、富士(現みずほ)銀行に入社(16年勤務)。2007年4月千葉県議会に出馬し初当選。2011年5月再選(現在2期目)。総合企画水道常任委員会。民主党千葉県議会議員会総務副会長。民主党千葉県連組織委員長。

<http://www.yazaki-kentaro.jp>

子どもの可能性を 最大にする教育支援

昨年の決算委員会で、現在県内165校で実施されている学習サ

ボーター事業の効果を確認、実施校を拡大するよう要望しましたが、27年度は前年同様に留まっています。また、生活保護家庭など、経済的な事情により、就学が継続できない子どもに対する奨学金制度を拡充できなかっただけ質疑しました。

「制度拡充に向け国に働きかけた」という答弁でした。

教育ほど大切な公共投資はく、将来千葉を担う人を育成すること

は、子どもの可能性・千葉の可能性・わが国の可能性の最大化に関わるものと私は考えます。誰もが公平に学べる機会の提供に、県の積極的な取り組みを引き続き働きかけます。

◆◆◆その他

その他には、決算委員会に引き続

き、境川河口の水門設置、日の出護岸の補強について、再要望しました。東京都では昭和21年に、浦安市では昭和44年に都市計画されているものの進行が止まっている「(仮称)堀江橋」(浦安市の堀江と江戸川区の葛西をつなぐ橋)について、進捗を確認。実現に向けた具体的な行動が必要と指摘しました。

要でした。

浦安では、上水道の漏水の復旧が遅れ、被害が生じたエリアもあり、新たな災害に備え、対策を取るよう強く要望してきました。その結果浦安が含まれる葛南地区は整備が先行され、今年2月から供用が開始されています。残るエリアに関しても、整備を急ぐよう求めました。

また、元町のような狭隘道路の消火用水源として、排水栓を活用することに関して、市町村要望に応じて推進するよう確認しました。

総合企画水道 常任委員会

◆◆◆配水管理テレメータ整備事業について

早急な 全域の整備を

排水管理テレメーターは、給水区域内の配水状況を監視するシステムで現在186局設置されていま

す。しかし、老朽化が進んだものや、震災時に通信の断絶で機能しなかつたものもあり、早急な更新が必

実現に向け粘り強い 取り組みを

京葉線・りんかい線の相互乗り

◆◆◆JR京葉線・りんかい線 相互乗り入れについて

入れに関しては、今年1月森田県知

事とJR東日本本社社長との会談

で、社長から前向きな発言が得られました。「当事者である、東京都・

東京臨海高速鉄道・JR東日本の

ことを踏まえ、今後の戦略を確認

しました。」「当事者である、東京都・

千葉県の可能性拡大に、

「ソーラーパネル」は重要です。

◆◆◆スポーツコンシェルジュ 運営事業について

◆◆◆JR京葉線・りんかい線 相互乗り入れについて

検討状況を見極めながら、適切に取り組んでいく」との回答でした。実現すれば多くの県民の利便性が高まり、観光地へのアクセスも向上します。引き続き県も主体的に取り組んでいくよう求めました。

◆◆◆スポーツコンシェルジュ 運営事業について

検討状況を見極めながら、適切に取り組んでいく」との回答でした。実

現すれば多くの県民の利便性が高まり、観光地へのアクセスも向上します。引き続き県も主体的に取り組んでいくよう求めました。

次の4年は、5年後に迫った東京五輪に向け、準備を進めることができます。浦安が含まれる葛南地区は整備が進み、浦安も千葉も、そして日本も未来に向かい、再び歩みはじめていました。

今、復興は、目に見えるかたちで進み、浦安も千葉も、そして日本も未来に向かい、再び歩みはじめていました。

2期目の最終議会である2月議会が終わり、次の節目を迎えるようにしています。

県民の可能性を最大に。

くる役割を担っています。「県民を守り、より良い明日を実現する」。言

い換えれば、県政は自らの力に挑み県民の可能性を最大限に引き出す仕組みなのです。

教育は子どもの可能性のために

かず、やり直しとなりました。異例の2度の選挙戦で、液状化の爪痕も生々しい市内をくまなく回りながら、県政にもどり市と国のパイプ役として復興に力を尽くすことを誓いました。

今、復興は、目に見えるかたちで進み、浦安も千葉も、そして日本も未来に向かい、再び歩みはじめていました。

8年前「家族が食卓を囲んで微笑みあう。そんな小さな幸せを守りたい」と政治を目指しました。今も変わらず熱いその想いを胸に、県民を守り、その可能性を引き出す県政の実現に、今後も力を注いで参ります。

主要な政策提言は、WEBサイトに掲載しています。また、ひとりでも多くの市民の皆さんに、直接想いを伝えるため、全力で活動いたしましたので、駅頭や街頭などで見かけた際は、足をお止めいただければ幸いです。

最大にするためになります。

8年前「家族が食卓を囲んで微笑みあう。そんな小さな幸せを守りたい」と政治を目指しました。今も変わらず熱いその想いを胸に、県民を守り、その可能性を引き出す県政の実現に、今後も力を注いで参ります。

主要な政策提言は、WEBサイトに掲載しています。また、ひとりでも多くの市民の皆さんに、直接想いを伝えるため、全力で活動いたしましたので、駅頭や街頭などで見かけた際は、足をお止めいただければ幸いです。